

プラスチック使用製品廃棄物再商品化モデル実証業務

仕様書

令和7年5月

福知山市

第1章 一般仕様

1 業務名

プラスチック使用製品廃棄物再商品化モデル実証業務

2 業務の目的

福知山市（以下、「本市」という。）では、プラスチック使用製品廃棄物の再商品化に向け、令和6年2月に「プラスチック使用製品廃棄物適正処理手法検討結果報告書」を策定するとともに（令和6年8月に一部見直し）、令和6年10月にプラスチック使用製品廃棄物の再商品化に係るサウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）を実施し、参画した認定事業者と共同研究に係る協定を締結した。

また、本市はプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律において、第33条に基づく認定再商品化計画により再商品化を行う方針である。

それらを踏まえ、本市プラスチック使用製品廃棄物再商品化モデル（以下「本モデル」という。）に係る一括回収及び中間処理（移送のための梱包処理等）に要する施設整備・処理体制を構築する必要がある。このために、当該モデルの実証を行うにあたり、本モデル実施計画に基づき本業務はそれを支援することを目的とする。

3 履行場所

福知山市 牧 地内

4 履行期間

契約締結日から令和8年3月13日まで

5 適用範囲

本仕様書は、プラスチック使用製品廃棄物再商品化モデル実証業務に適用する。また、本仕様書は、本業務を受託したもの（以下「受注者」という。）が遵守すべき主要な事項を示したものであり、契約書に定めるもののほか、本仕様書に基づき業務を行うものとする。

6 関係法令の遵守

受注者は、本業務の履行にあたり、関係する法令、条例、規則、細則、基準等に従うものとする。

7 資料の貸与

本市は、業務の遂行上必要な資料で、所有している提供可能な資料について貸与する。この場合、受注者は業務が完了したときは速やかに返却するものとする。

なお、事前に以下の資料を提供する。

- (1) プラスチック使用製品廃棄物適正処理手法検討結果報告書
- (2) サウンディング公表資料
- (3) サウンディング提案資料（業務委託契約締結後、提供するものとする）

8 秘密保持

受注者は、業務の遂行上知りえた秘密事項を第三者に漏らしてはならない。

9 業務の指示及び監督

受注者は、本業務の実施にあたり、当該契約に基づき本市と密接な連絡を取り、その指示に従わなければならない。

また、本仕様書の解釈に疑義が生じたとき、並びに仕様書に明記されていない事項について判断が必要なときは、本市と事前に協議しその指示に従わなければならない。

10 業務の実施

受注者は、業務を実施するにあたり、本市の意図及び目的を十分理解し、適切な人員を配置して、最高技術を発揮できるよう努力するとともに、正確・丁寧に行うものとする。

11 疑義の解決

本仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合、速やかに本市と協議のうえ決定するものとする

12 打合せ協議及び記録簿の作成

受注者は、必要に応じて本市と打合せや協議を行い、終了後は記録簿を作成のうえ、概ね7日以内に本市に提出し確認を受けるものとする。

なお、打合せは適宜 WEB で行うこととし、初回、中間、完了時の3回程度は対面での実施とする。

13 業務実施計画書の提出

受注者は、契約締結後速やかに、本市と協議の上、本仕様書に基づいた業務の具体的な実施計画書（様式任意）を作成し、提出するものとする。

14 成果品

委託期間の終了時に、以下に示す成果品を作成し納品する。

- | | |
|-------------|----|
| (1) 調査報告書 | 2部 |
| (2) 上記の資料編 | 2部 |
| (3) 打合せ議事録 | 一式 |
| (4) 上記電子データ | 一式 |

第2章 特記仕様

1 モデル実証の概要

本モデルは、プラスチック使用製品廃棄物とプラスチック製容器包装との一括回収等の効果を試行的に実証（以下、「一括回収実証」という）するものである。

そこで、対象自治会（以下「モデル地区」という。）を本市で選定し、約 600 世帯を対象に 1 か月（4 回程度）の一括回収実証事業を行う。

実証後において、対象自治会へのアンケート調査の実施及び一括回収物の組成調査結果を踏まえ、収集及び再商品化に係る課題の整理を行い、再商品化計画に必要となる事項を取りまとめる。

2 モデル実証のスケジュール

時期	実証項目	詳細
令和7年8月	基礎調査	①実証に必要な本市廃棄物排出量・処理量資料を取りまとめる
	一括回収実証	②一括回収実証の実施計画を策定する
9月	一括回収実証	③一括回収実証に係るモデル地区への説明会を開催する
10月	基礎調査	④モデル地区の容器包装プラスチック等の現在排出量調査を行う
11月	一括回収実証	⑤モデル地区において一括回収実証を行う
12月	モデル実証	⑥一括回収した一括回収物の組成調査を行う
	モデル実証	⑦モデル地区住民に対して、アンケート調査を行う
	モデル実証	⑧一括回収実証を踏まえ、必要な課題抽出・資料作成を行う
2月	モデル実証	⑨各関係機関等に対し、検証内容の報告を行う

3 業務内容

上記の実証項目に基づき、以下のとおり支援を行うこと。

（1）基礎調査に係る支援

① 本市廃棄物排出量等の取りまとめ

実証に必要な本市廃棄物排出量・処理量資料を整理し、取りまとめること。なお、整理に必要な資料については、本市から提供する。

④ モデル地区における既存分別区分の排出量調査

本市家庭ごみ収集事業者が、対象自治会の容器包装プラスチック等を収集し、現在の排出量及びトリップ数等を調査する。受注者はこれを取りまとめること。

（2）一括回収実証に係る支援

② 一括回収実証の実施計画策定支援

一括回収実証を円滑に行うため、検証に必要な本市廃棄物処理データ、モデル地区の概要、一括回収実証の詳細及び別紙に示す各関係機関の役割を踏まえた効果実証項目等を記載した実施計画の策定を支援すること。なお、本市が作成した別紙の素案を参考にすること。

(3) モデル実証に係る支援

⑥ 組成調査結果の実証

一括回収物からサンプリングを抽出し、別途本市が認定事業者に発注する組成調査業務に先立ち、組成調査項目を検討及び作成すること。また、組成調査終了後に認定事業者からの組成調査結果を受領し、項目ごとに取りまとめること。

⑦ 住民アンケートの実施

一括回収後に対象自治会を対象としたアンケート調査を実施することから、収集等の課題を抽出するための調査項目を検討し、アンケート（紙・WEB）を実施及び取りまとめること

⑧ 課題抽出・解決手法の提案

⑥、⑦にて実施する組成調査結果及びアンケート調査結果を踏まえ、本市が今後作成する再商品化計画に必要となる以下の事項を取りまとめる。

ア 再商品化計画別紙2「再商品化工程及び物質収支」案を作成すること。

イ 温室効果ガス排出量削減効果等を実証すること。

ウ 対象となるごみの排出量の試算を行うこと。

⑨ 調査報告書の作成及び報告会の実施

実施した業務内容を取りまとめ、調査報告書を提出し、各関係機関を対象に報告会を1回開催すること。なお、必要に応じて概要版を作成すること。なお、報告会の場所の確保及び対象者の招集は本市にて行う。

(4) その他モデル実証の支援に関すること。

別紙：各関係機関の一括回収実証の役割

○本市

- ・ 各関係機関の調整
- ・ 自治会説明
- ・ 説明会資料の作成及び情報の提供
- ・ 基礎調査に必要となる資料の提供
- ・ 一括回収実証対象自治会の現行の容器包装プラスチックの排出に係る情報（排出頻度、排出方法など）の提供
- ・ 一括回収実証に係る前提条件（容器包装プラスチックの収集区分に製品プラスチックを追加するなど）を含む実証の実施計画の策定支援に必要な情報提供
- ・ 組成調査の作業スペースの提供
- ・ 組成調査後の一括回収物の撤収及び処理

○本業務受託業者

- ・ 基礎調査内容の取りまとめ
- ・ 実証の実施計画の策定支援
- ・ アンケートの作成、実施、回収及びとりまとめ
- ・ 組成調査結果のとりまとめ
- ・ 効果検証
- ・ 報告会の実施

○認定事業者

- ・ 再商品化にむけた受入条件に係る情報の提供
- ・ 組成調査の実施
- ・ 組成結果の報告

○収集運搬業者

- ・ 現行の容器包装プラスチックの収集運搬
- ・ 一括回収物の収集運搬（本市の指定する場所までの運搬）

以下、余白